

## 第 13 回経塚公園利活用連絡会（準備活動）開催結果について

1. 日時 2025 年 3 月 25 日（火）19：00 ～21：00
2. 場所 浦添市役所 601 会議室
3. 参加者等 会場参加：8 名  
浦添市、UR 都市機構 沖縄まちづくり支援事務所

今年度最後となる第 13 回経塚公園利活用連絡会（準備活動）では、この一年間の振り返りとして、連絡会の取り組みや社会実験の成果を共有し、今後の社会実験イベントについて意見交換を行いました。

来年度はいよいよ、P-PFI 事業者によるカフェなどの整備がスタートし、同時に浦添市による駐車場の整備も進められます。連絡会では、カフェ施設のイメージ図も示され、参加者の皆さんがより具体的に未来の経塚公園をイメージできる機会となりました。

夏頃から整備が始まり、一部のエリアの利用が制限されることとなりますが、連絡会や社会実験は引き続き実施予定です。社会実験では、身近で小さな活用から大規模なイベントまで、さまざまな形で公園の可能性を試すことができます。

ぜひこの機会に、公園利活用連絡会を活用し、仲間づくりや応援の輪を広げながら、「みんなの公園」として地域のための活用をさらに増やしていきましょう！

### ◆浦添市 美らまち推進課 山城学課長

<挨拶>

本日は、経塚公園が今後ますます多くの方が使われるよう、気軽に意見交換ができる場となればうれしい。



### ◆浦添市 美らまち推進課 玉城竜弥技師

<経塚公園の整備>

- ・平成 30 年度から令和 2 年度にかけて、地域住民や事業者等を対象とした作業部会との対話を通し、令和 3 年 7 月に今後の経塚公園の指針となる「経塚公園まちづくり計画」を策定し、そのなかで経塚公園の方向性を『地域の健康づくりや市民の健康増進に資する「ヘルシーパーク」』と決定。



#### <整備スケジュール>

- ・ 緑破線：Park-PFI 事業にて整備予定。
- ・ 青破線：市が整備予定。
- ・ P-PFI 整備を鑑みて、令和 7 年度以降順次整備予定である。



#### <イベント可能区域>

- ・ 赤ライン：経塚公園区域
- ・ 青ライン：P-PFI にて整備される区域
- ・ 緑ライン：現在のイベント可能区域



#### <公園利活用連絡会について>

- ・ 公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携ができる、地域の皆さんとの共創を推進する場。アイデア段階のものなども発表いただくことできる。
- ・ 連絡会を円滑に進めるためのルールも設けている。(イベントガイドライン参照)

#### <イベント等での利用について>

- ・ 申請などは各自で行う。
- ・ 公園では、散歩したりなので「自由利用」と一次的に独占的に使用する「一次利用（許可が必要）」がある。
- ・ 10 項目が公園で禁止されている。

#### <P-PFI について>

- ・ P-PFI とは、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
- ・ 事業予定者は、医療法人社団オレンジ。カフェ、ジム、集会場、トイレ、芝生広場、駐車場、散策路が事業予定者によって整備される。

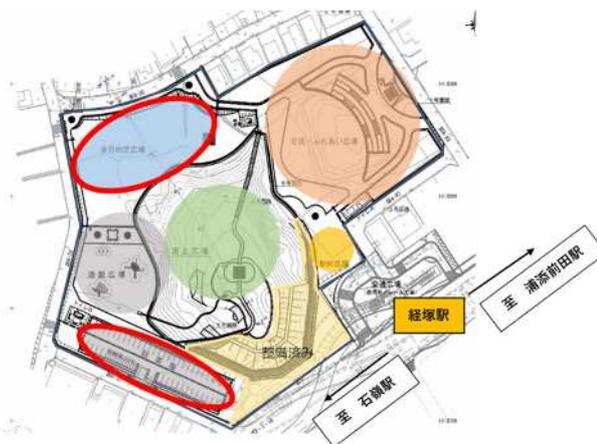
#### <今年度実施の公園利活用連絡会、社会実験イベント>

今後の社会実験イベントなどは、連絡会を通して提案やアイデアなどの意見交換をしながら進めていければと思っている。

◆浦添市 美らまち推進課 比嘉拓人係長  
＜経塚公園の今後の整備について＞

令和7年度は、浦添市は駐車場と多目的広場の整備を行う。山を利用した散策路づくりや遊具広場などは来年度以降、予算の兼ね合いを見ながら順次整備予定である。

※R7年浦添市整備：赤枠の部分



◆今年度の公園利活用連絡会の振り返り

今年度は4回実施した。今後、事務局はP-PFI事業者へ引き継がれる予定であるが、現在はその前の準備活動として実施している。準備活動で主にやっていこうと考えているのは、①主体的活用者を増やす事、②ネットワークづくりである。公園を使って、やりたいこと、主催者としてのトライアル、サークルづくり、ネットワークづくりなど、トライをしていただきたい。

今年度の連絡会の特長は、毎回主体者から連絡会参加者に対して、それぞれの社会実験に向けた協力の依頼があり、その解決のための意見交換の場となったことである。

○第10回連絡会 2024年6月20日(木) 19:00～21:00

7月20日社会実験イベント(地域も参加できる保育園祭りを実施)に向けて、子むすびの森保育園よりより協力依頼などがあった。連絡会では会場設営、片付け、交通整理や管理、広告・宣伝、駐車場などの協力依頼があり、様々なアドバイスや意見交換が行われた。イベント当日も、連絡会参加者による様々な支援が行われた。

○第11回連絡会：2024年8月21日(水) 19:00～21:00

9月21日社会実験イベント(世界アルツハイマーデーに、アルツハイマーに関する普及啓発のためのウォーキング駅伝を実施)に向けて、浦添市地域包括支援センターさっとなより協力依頼などがあった。連絡会では、施設からのアプローチのための草刈り、各種備品、トイレ、関係者用駐車場、ボランティアなどの協力依頼があり、様々なアドバイスや意見交換が行われた。イベント当日も、連絡会参加者による様々な支援が行われた。

○第12回連絡会：2024年11月26日(水) 19:00～21:00

2025年1月25日社会実験イベント(地域防災に向けた普及啓発イベント)に向けて、WAKIMIZUよりより協力依頼などがあった。連絡会では、避難訓練参加者、ワークショップ実施者、備品、トイレ、関係者用駐車場、ボランティア等の協力依頼があり、様々なアドバイスや意見交換が行われた。イベント当日も、連絡会参加者による様々な支援が行われた。

<意見交換>連絡会自体のルールや、活用方法など。

例) 青空連絡会、交流会として実施

・施設整備までの間、話し合いや活動ができるような  
コンテナなどは作れないものか。

→P-PFI 事業者による建物の完成度は、令和 8 年度  
あたりとなる。

→公園である必要もない。カフェなどでも可能では  
ないか。

→整備が終わったら、P-PFI 事業者が連絡会の事務局となる。



#### ◆社会実験について

<趣旨>

・公園利活用の実践の場である。公園利用にあたっての制限などはあるが、地域のニーズに合わせた公園ルール作りとなるようなトライアルのための機会でもある。

例) 火気厳禁であるが、地元ルールとして「バーベキューのできる公園」などとするこ  
も可能

<社会実験ルール>

- ・(社会実験趣旨に合えば) 公園利用料は無償
- ・公園利用にあたっての制限が条例によって定められているが、社会実験として浦添市が認める場合がある。
- ・各関係部署への連絡や調整、公園活用の申請、その他実施において必要な事項に関しては、主催者が行う。責任においても、各主催者が持つこととする。(浦添市や UR が主催として実施する場合もあるが、それ以外の場合は、できる範囲での支援となる。)
- ・テント、椅子、パラソル等 (決まった個数分のみ) は、先約がなければ指定管理者から借りることができるが、指定管理者への借用・返却や、設営などは自分で行う。

	商品名	数量	写真イメージ
1	パラソル	5	
	パラソルベース		
2	テント	7	
3	テーブル	5	
4	チェア (1)	10	
5	チェア (2)	5	
6	ローチェア	5	
7	アウトドアソファ	2	

※数量が異なる場合がある。

- ・駐車場は、整備前で可能なスペースがあれば、公園内で利用できる。
- ・近隣への告知（チラシ配布）などは、主催者が行う。
- ・原則ゴミは持ち帰り、きれいにして戻す。
- ・その他、相談は随時、浦添市、もしくは指定管理者で受け付ける。

#### ◆ 今年度の社会実験イベントの振り返り

##### ○第8回・社会実験イベント

開催名称：KOUKI FESTIVAL

開催日：2024年7月20日（土）10:00～15:00

- ・地域の事業者として自分たちの園を知ってほしい、保育園の子どもや親、地域の方に楽しんでもらいたいということで実施。
- ・保育園関係者を中心に、当日や約313名の方が参加。
- ・真夏の開催であったため、様々な熱中症対策を講じられた。

##### ○第9回・社会実験イベント

開催名称：灯りをともそう！ライトアップわくわく駅伝2024 世界アルツハイマー  
デーライトアップ駅伝 in 経塚公園

開催日：2024年9月21日（土）17:30～19:30

- ・世界アルツハイマーデーに合わせて、ウォーキング駅伝を実施。市長も参加された。
- ・当日の雨が危ぶまれたため、事前に駅前のコンクリート部で実施するレイアウトも考えていた。実際、駅前コンクリート部で実施。
- ・看板等の設置場所がないことや、電源、トイレ、水道などがなく不便を感じた。

##### ○第10回・社会実験イベント

開催名称：楽しく学べる防災

開催日：2025年1月25日（土）11:00～15:00

- ・公園周辺に4つの社会福祉施設があり、避難訓練などを呼びかけたが、寒い時期でもあり、参加できなかったという連絡があった。時期を選ぶ必要があると感じた。
- ・昨年よりも出店者が多く、盛大にできたことは成果である。
- ・昨年に引き続き、ゴミ袋でのレインコートづくりのワークショップを実施した。簡単に作れ、防寒にもなる。子どもから大人まで、楽しんで参加してくれた。
- ・自作のロケットストーブでかんなくずを燃やした。サバイバルテーマのイベントとして燃焼力は弱かったが、火が消えなかったことでは成功。作り方を教えることもできた。市販のものの性能の良さを実感。良く燃焼し、暖を取ることができた。



- ・かまどベンチとスツールを貸し出した。これらのツールは、いざという時にこの公園に来ればよいという安心感をもたらす。イベントでその体験をしていただくことも大切。
- ・防災だけでなく、寒い時にキャンプファイア的にスツールなどを使うようなイベントであってもよいと思った。ベンチの紹介ももっと工夫してできればよかった。
- ・イベントを終えて、おがくずをいただいて肥料とした。つながりができた。
- ・市でも、経塚公園で整備される施設のイメージ図を展示した。市民の方にも喜んでいただけた。
- ・URの防災や震災への取り組みなどを周知できた。熱心に聞いていただくことができた。
- ・自治会からの紹介で、手話ダンスの団体が披露してくれた。
- ・消防団からは、このようなイベントで地域に防災を周知することは大切であるので、必要であれば声掛けをしてください、というコメントをいただいている。



<意見交換> 社会実験としてやりたいこと（公園禁止事項なども公園ルールなどへも可能）

- ・自分たちの活動の成果を発表できるような機会が欲しい（例）お茶体験
  - イベントの主催者として実施するのも可能
  - 仲間募集なども可能（サークル化など）
- ・朝から夜まで開催する「経塚公園祭り」があれば良いのでは？
- ・年2回くらいできればよいのでは？
- ・地域福祉センターなどにもたくさんのサークル活動があり、声掛けできる。
- ・中央公民館での活動団体なども、今後の活動場所を探している。
- ・経塚公園は、整備が始まる前（6月頃）までは、現在の人工芝なども使うことができる。
- ・地域のふれあい祭りなどがあると良い。公園でのイベントに終わるのではなく、地域の魅力が分かるようなものとなればよい。人が集まるような仕掛けをエンターテインメント的にできればよいと思う。
- ・そのような幹事グループが作れば良いのではないかな？
- ・公園では、様々な活動が集まり、それらを体験できるようなものにすればよい。
- ・青空コンサートなどもよい。
- ・イベントと、趣味としての活動を組み合わせられればよいのでは？
- ・防災イベントとバーベキューイベントを一緒にできたらよいのではないかな。
- ・壁に絵が描けたら、観光などへもつながる。

以上